

1999年9月17日(金)～10月31日(日)

寄贈品コーナー「石の旅 - 石と人との関わり - 」

9月8日から16日までの一週間、各大学から博物館実習生を17名受け入れ、実習が行われました。初日は施設概要説明、2・3日目は各分野の資料整理、4日目は普及活動（漂着物を拾う会）への参加と、博物館の活動を一通りと学んだあと、最後の3日間で寄贈品コーナーの展示制作を行いました。展示制作を通して、展示の意図や構成の仕方、展示の技術や手法などを学ぼうというものです。

今年はありふれた石がどのように人の生活と関わっているのかを意図し、地質分野から石の原石を、考古分野と民俗分野より縄文時代～現代にかけて使われている石製品を提供し、展示シナリオから考えてもらいました。長い話し合いの結果、石が上流から下流に流れていく間に、人々にどのように利用されていくかを展示しようということになり、「石の旅 - 石と人との関わり - 」と題して、展示がつくられました。五輪塔・石臼・打製石斧・石錘などを用い、石ころの緑ちゃん・ぼくくん・たいらくんという3人のキャラクターを登場させて、物語風に展示が構成されました。悪戦苦闘してできあがった展示ですが、是非ごらんください。この展示は10月31日まで展示されています。



完成した展示



実習生の面々